



# スマートハウス実現への取組み

コンシューマ・プロダクツ部

CE 部会は、今年度の重点事業の一つに、スマートハウス実現への取組みを掲げています。

スマートハウス実現への取組みは、中期的な取組みの一つとしてとらえていますが、当部会としては、関連団体との連携を視野に入れつつ、“3E” (Economy、Energy、Entertainments) を念頭に置いた上で、HEMS (Home Energy Management System: 家庭内エネルギー管理システム) の導入に向けた課題等について調査・研究を行い、家庭内の CO<sub>2</sub>削減に向けた政策提言へ繋げることができればと考えています。

## 1. スマートハウス研究会活動

そこで、活動の一環として、2010年度にスマートハウス研究会を立上げ、住宅メーカー、自動車メーカー、アライアンス、コンソーシアム関係等周辺業界の方々それぞれのお立場から、HEMS への取組みや EV の急速充電等、スマートハウスをどうとらえ、活動されているかについてお話を伺い、意見交換を実施してきました。2012年1月には、北九州市スマートコミュニティ東田地区実証事業の見学を行い、より幅広く周辺状況を把握しつつ、共通の課題を見出せるよう努めています。

2010年度から現在に至るまで、下記の方々にご講演をいただき、また、意見交換の場を設けてきました。

エコネットコンソーシアム  
関西文化学術研究都市推進機構  
北九州市  
慶應義塾大学  
一般社団法人 ZigBee SIG ジャパン  
大和ハウス工業(株)  
CHAdEMO 協議会  
東京電力(株)  
日産自動車(株)  
HEMS アライアンス  
(株)ミサワホーム総合研究所

## 2. スマートネットワークのユーザーニーズ調査

スマートハウス関連の活動は、省エネルギー、電力の見える化等エネルギー関係の活動に関連が深い面もありますが、当部会としては、ボーダレス化した機器間の相互接続性、機器の使い勝手、セキュリティ等、利用者視点を踏まえた望ましいホームネットワークの普及への取組みも重点事業の一つに掲げており、利用者視点を踏まえた望ましいホームネットワークの観点からも検討を行っています。

前述のように、約2年前からスマートハウス研究会の活動を行っておりますが、2012年度は、スマートハウス研究会の活動を継続しつつ、別途スマートネットワーク調査 WG を設置し、ユーザーニーズ調査を行うこととしました。

エネルギーコントロールを主眼とした HEMS については、スマートハウスの観点でこれまでも調査や実証実験が行われてはいますが、実際の普及を考える上では HEMS によるビジネスモデルに加え、よりユーザーが関心をもつサービスを付加する必要があると考えています。また、当業界として、将来 HEMS の普及促進に向けて解決しなければならない課題を明らかにしていくとともに、ホームネットワーク (外部ネットワークからのアクセスを含む) の普及を後押ししていく所存です。

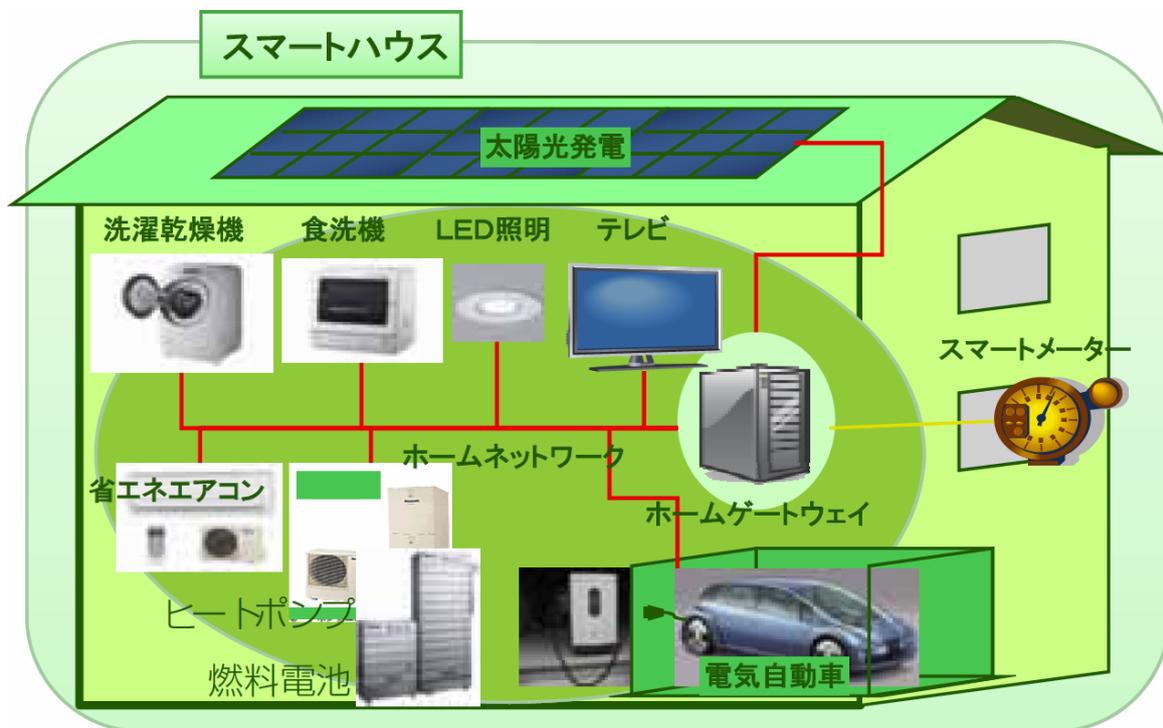
ホームネットワークを介したサービスの一部は既の実現されているものもありますが、まずは、消費電力の見える化を含むエネルギーマネジメントのユーザーニーズに加え、エンターテインメント、セキュリティ、見守りやヘルスケアといったホームネットワークを活用したサービスを普及させるための課題を抽出するために、ユーザーニーズ把握調査を実施し、年度内に結果をまとめる予定です。

### 3. 官公庁、他団体との連携

最後に政府、他団体との連携活動をご紹介します。

2011年度は経産省の要請に基づき、JSCA（スマートコミュニティアライアンス）国際標準化WG EMS-SWG スマートハウス標準化検討会に、IEC/TC100（オーディオ・

ビデオ・マルチメディアシステム及び機器）に関する知見をお持ちのJEITA代表（AV&IT標準化委員会委員長）がオブザーバーとして参画、状況をウォッチし情報共有を図りました。引き続き、今年度も新たに設置されたJSCAスマートハウス・ビル標準・事業促進検討会に参画し、当業界の意見反映に努めています。



スマートハウスイメージ（経済産業省ホームページより抜粋）

[http://www.meti.go.jp/policy/energy\\_environment/smart\\_community/](http://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/smart_community/)

HEMS 関連事業、ホームネットワーク等、既に会員企業各社において新しいビジネスチャンスとして積極的に取り組んでおられますが、業界としても、将来大きな成長を遂げるであろうこの分野で、ユーザーに近いとい

う当部会の特徴を生かし、ユーザー目線をふまえた活動を効率的に推進しスマートハウス実現への取り組みを継続していく所存です。

以上